



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域・観光・交通事業・地域公共交通の振興支援および活性化

大井 尚司 (おおい ひさし)

大分大学・経済学部門 教授

○ 登録者情報

所在地

大分県大分市

略歴

経歴:

1996-2001年 西鉄旅行株式会社にて海外旅行手配・企画・営業および総務部担当

2001-2007年 神戸大学大学院(経済学研究科博士前期課程、経営学研究科博士後期課程) 博士(経営学)

2007-2009年 一般財団法人運輸政策研究機構運輸政策研究所(現・運輸総合研究所総合研究部) 研究員

2009-2019年 大分大学経済学部准教授

2019年10月-現在 大分大学経済学部門教授、減災・復興デザイン教育研究センター復興デザインユニット兼任教授

2020年11月-現在 第一交通産業(大分第一交通)特命担当次長を兼任(クロスアポイントメント)

受賞歴:

地域交通会議担当地域の受賞: 豊後大野市地域公共交通会議(優良事例として国土交通大臣表彰)2014年、大分市地域公共交通活性化協議会(同上)2018年

本人の受賞: 日本交通学会学会賞(論文の部)2007年

主宰する組織の受賞: 国土交通省九州運輸局交通政策表彰(2019年3月)(自主運営組織「地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu」代表として)

担当業務経歴(主要なもの):

国土交通大学校地域公共交通初任者研修講師(2011年~現在、課題研究担当)

九州大学大学院統合新領域オートモーティブサイエンス(AMS)専攻非常勤講師(2014年度~現在、交通の経済学担当)

日本交通学会・日本観光研究学会の理事、公益事業学会評議員、日本観光研究学会九州韓国南部支部副支部長、日本計画行政学会九州支部理事、日本地域政策学会九州支部幹事

九州内25か所の地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会委員(副会長職2件、会長職1件)

国土交通省交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員(2018年~) ほか九州運輸局・九州地方整備局や大分県・大分市などの委員会職多数

著書・論文等

『交通政策入門(改訂版)』2018年、同文館出版(共編著)

『現代交通問題・考』2015年、成山堂書店(共編著)

「人口減少・人口構造の変化と交通事業者の経営に関する考察」、『運輸と経済』、80巻3(873)号(2020年3月号)、交通経済研究所、2020.03、pp.31-34

「地域公共交通の「これまで」と「これから」」、『九州経済調査月報』、905号(2020年3月号)、九州経済調査協会、2020.03、pp.4-9

「乗り継ぎ需要の定着と価格戦略の関係性に関する事例分析」、『土木計画学研究・講演集』、62巻、土木学会、2020.11、CD-ROM

「公共交通プライシングにおける経済・制度的課題の一考察—過去の価格競争事例の再検討から—」、『土木計画学研究・講演集』No.60、土木学会、2019年11月、CD-ROM

「観光振興における飲食ビジネスモデルとしての「屋台村」のモデルの意義と課題—鹿児島中央駅前「かごつまふるさと屋台村」を事例に—」、『日本観光研究学会全国大会論文集』34号、日本観光研究学会、2019年12月、CD-ROM

「熊本地震に関する分析から見た都市計画上の課題と提言」、『熊本地震調査報告書』、日本都市計画学会九州支部熊本地震災害調査特別委員会、2018年2月、pp.77-90

『交通政策入門(第2版)』、同文館出版、2018年5月(衛藤卓也・後藤孝夫との共編著、第2・6・9・12章を執筆)

「災害及び経営リスクと地方鉄道の経営形態に関する一考察」、『土木計画学研究・講演集』、No.57、土木学会、2018年06月、CD-ROM

「交通事業イノベーションの可能性」I. 貞包健一『タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦(まちづくり資

○ 地域・観光・交通事業・地域公共交通の振興支援および活性化

取組の内容

国土交通省の各種委員会、自治体の地域公共交通活性化支援事例に数多く参画し、制度設計の支援や計画策定支援を継続。

人材育成について、国土交通大学校地域公共交通初任者研修講師(2011年～現在、課題研究担当)や、大分・熊本・福岡県はじめ各地での自治体・公的機関依頼の人材育成研修に数多く出講。これと別に有志による自主運営組織「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu」を2010年に発足、その代表として従事。九州建設コンサルタンツ協会CPD認定のほか、国土交通省九州運輸局「地域公共交通の勤どころ」冊子等で優良事例に紹介、2019年3月には国土交通省九州運輸局交通政策表彰を受賞。

観光面での実践的な支援は、大分市などの観光計画立案、観光に関する政策形成(国土交通省九州運輸局の観光プロジェクト評価)の支援を実施。

地域振興では、大分県の防災・総合計画の策定やフォローアップに従事(港湾、交通、観光)。また大分県立三重総合高校と豊後大野市との連携プロジェクトや、ジェットスター・大分県との連携プロジェクトに従事。

実績

人材育成(地域公共交通関係): 講演・講義延べ50回超、有志による自主運営組織「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu」で2010年からこれまで20回の勉強会、のべ2000人超の参加実績。

委員会等への招聘・参画:

地域・公共交通関係: 国土交通省関係延べ20件、地方自治体で25地域(うち2案件で会長職、5案件で副会長職)。他に大分県の総合計画、防災・交通に関する計画や、国土交通省の道路関係の委員会、宮崎県西米良村の総合計画にも従事。

観光関係: 自治体の観光計画策定1件、国土交通省九州運輸局の案件に1件(2020年度より継続)参画。他にジェットスター・大分県・大分大学経済学部の三者連携プロジェクトを2018年度から運営。

工夫した点や苦勞した点

人材育成に関する継続性の確保(予算、自治体の担当者交代、勉強会運営)

大学等の高等教育機関における専門科目・人材不足(それによる出講エリアの増加と日程確保の困難さ)

人脈ネットワークを通じた若手人材の発掘、連携箇所の増大、交通事業者への継続的・積極的アプローチを実施することにより、負荷の軽減と継続性の確保に努めた。

ひとことPR

ベースは交通・観光の経済学的アプローチですが、そこにこだわらず交通・観光・地域に関するあらゆることを、産学官連携・文理融合の多様なアプローチでお手伝いしてきました。現在は交通事業者と大学教員の二足の草鞋を履いて、九州を中心に交通・観光・地域の振興に関するお手伝いを、主に地方自治体、交通事業者とのネットワークで行っております。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	○ その他 公共交通利用との連携策
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
○ その他 交通事業者の経営継続	○ その他 公共交通の利用促進、転換
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
○ 地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 観光計画策定、事業評価、経済効果計測
○ その他 復興に当たっての計画	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
○ その他 高大連携事業の実践	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

大分大学経済学部交通論研究室	https://www.facebook.com/oitaunivtransport
大分大学経済学部	http://www.ec.oita-u.ac.jp/index.php/kyouin/keiei/ooihisashi/
Qサポネット 地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushu	https://www.facebook.com/qsuppo

連絡先

メールアドレス	ooi-hisashi〔アットマーク〕oita-u.ac.jp		
---------	---------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。